

<目標分野> ※該当するものに全て印

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

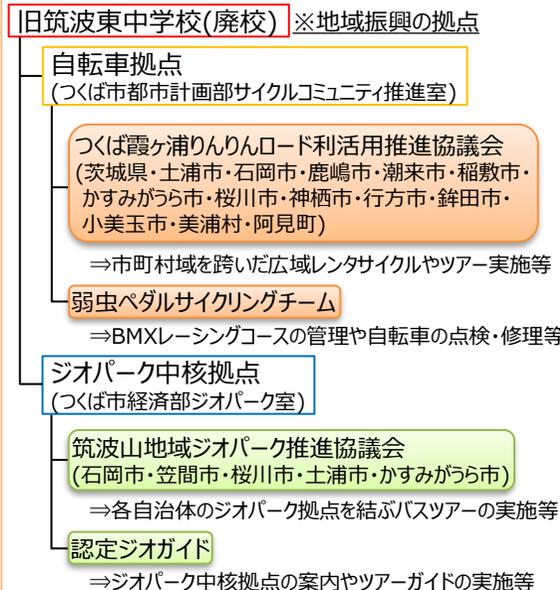
<目標内容>

- 『自転車』と『筑波山ジオパーク』をテーマに、廃校整備（ハード）とレンタサイクル事業等（ソフト）を効果的に組み合わせ、
- 回遊性向上・人流創出：「旧筑波町エリア」を中心としたつくば市全体、さらに、近隣自治体を含む広域での人流創出！
【数値目標：令和7年度の拠点来場者数16,000人】
 - 健康増進：自転車拠点をトリガーとして『自転車』利用を強力に推進することで、市民の健康増進！

<PRポイント>

- ①【廃校 × 自転車 × ジオパーク】廃校リノベーションによる交流人口の拡大→地域振興を実現！
- ②【ナショナルサイクルートの高付加価値化】隣接する「つくば霞ヶ浦りんりんロード」来訪者の利便性向上！
- ③【弱虫ペダルサイクリングチームと協働】弱虫ペダルのネームバリューによる集客効果向上！
(令和3年7月6日につくば市と弱虫ペダルサイクリングチームとの連携協定を締結)

<継続的な取組を確保できる体制(図)>



<概要> 計画期間：～令和8年3月31日(令和5年度中にOPEN予定)

<現状・課題>

- つくば市の中心エリアでは人口が増加しているが、周辺エリアである「旧筑波町エリア」では人口減少と高齢化が進行しており、公共サービスや社会経済の維持等の持続可能な地域社会の継続が危惧される状況
- 自転車とジオパークにとって好立地に廃校が存在(「つくば霞ヶ浦りんりんロード」から約200m、筑波山から約2km)

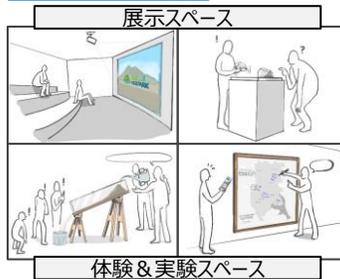
<総合的な取組内容>

地域振興の拠点化!

岩瀬駅と土浦駅の間地点に自転車拠点を整備することでサイクリストの利便性向上



ジオパーク中核拠点



サイクリング、BMX、登山等、多様な目的を持った来訪者を、地域資源である『筑波山ジオパーク』やその他の市内観光、飲食等へと誘導!

各種基礎データ

- スポーツ局の所属先
市民部スポーツ振興課(市長事務部局)
- 地方スポーツ推進計画
つくば市スポーツ推進計画(平成31年2月策定)
- 地方版総合戦略
第2期つくば市戦略プラン(令和2年3月策定)
- 地域スポーツコミッション：無
- ホストタウンの相手先：スイス連邦
- その他
SDGs未来都市(平成30年選定)
つくば市自転車安全利用促進計画(平成27年4月策定)

